

講義シラバス										
科目名	クリエイティブⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	60	時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生			
講師名	宇野 智哉/鹿内 魅人	講師 プロフィール								
【授業を通じての到達目標】										
表現したい作品をより良く表現ができるように、撮影技法を学ぶ										
【学習内容】										
座学で撮影の勉強を行い、実践を通して良い作品を発信する										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
筆記用具・PC・スマホ・タブレット・カメラ(持っている人)										
日時	授業計画			日時	授業計画					
①	【到達目標】			⑨	【到達目標】					
	人物撮影の基本				写真レタッチ応用(座学)					
②	【到達目標】			⑩	【到達目標】					
	作品撮り(チームに分かれ考案)				作品の幅を広げるためのライティング(座学)					
③	【到達目標】			11	【到達目標】					
	作品撮り(チームに分かれ実践)				最終課題 動画広告作成(座学I)					
④	【到達目標】			⑫	【到達目標】					
	作品発表/自己評価・他個評価				動画広告作成 チームに分かれ 1.構成を考える					
⑤	【到達目標】			⑬	【到達目標】					
	人物撮影応用(座学)				動画広告作成 チームに分かれ 2.素材を撮る					
⑥	【到達目標】			⑭	【到達目標】					
	作品撮り(チームに分かれ考案)				最終課題 動画広告作成 チームに分かれ 3.編集する					
⑦	【到達目標】			⑮	【定期試験】60					
	作品撮り(チームに分かれ実践)				動画広告作成 チームプレゼン実施 動画広告を披露・プレゼンし、自己評価と他個評価を行う					
⑧	【到達目標】			【成績評価の方法と基準】						
	作品発表/自己評価・他個評価			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						
【履修に当たっての心構え・留意点】										
チームに分かれ、お互いを撮影することが多いのでメイクをして授業に臨んで下さい。										

講義シラバス									
科目名	ショープロデュース	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	國枝知夏	講師 プロフィール	東京の服飾専門学校を卒業後アシスタントを経て独立し老若男女問わず主にタレント、俳優の方々を担当しCM、映画、ドラマ、バラエティ、雑誌、MV、ショーなど様々な現場に20年程携わる						
【授業を通じての到達目標】									
チームで1つの作品を作り上げチームワークの大切さを知り作品をより良く見せるための演出が出来る									
【学習内容】									
オリジナルブランドのプロモーションを制作し、個人としてチームとしてクリエイティブな現場作りと作品を仕上げる事が出来る									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式 筆記用具 携帯やタブレット									
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (9/17)	【到達目標】 2点 オリエンテーション DVD (ショーや演出方法を知りイメージすることが出来る)			⑨ (11/19)	【到達目標】 3点 プロモーションイメージを明確に伝える事が出来る (衣装、ヘアメイク、音、照明など) [ヘアメイク]				
② (9/24)	【到達目標】 3点 ブランドプロモーションの企画を立てることが出来る (GP割と役割決め)			⑩ (11/26)	【到達目標】 3点 リハーサルの大切さを理解し本番のように進める事が出来る				
③ (10/1)	【到達目標】 4点 プロモーションイメージを具体化する事が出来る (GPのイメージ案画を提出)			⑪ (12/3)	【到達目標】 2点 それぞれの役割を理解し動く事が出来る [撮影]				
④ (10/8)	【到達目標】 3点 計画に沿って作業を進める事が出来る (衣装の作成) [制作]			⑫ (12/10)	【到達目標】 2点 それぞれの役割を理解し動くことが出来る [撮影]				
⑤ (10/15)	【到達目標】 3点 計画に沿って作業を進める事が出来る 「制作」			⑬ (12/17)	【到達目標】 3点 撮影したものを元にプロモーションの編集が出来る [撮影予備日]				
⑥ (10/15)	【到達目標】 3点 計画に沿って作業を進める事が出来る [制作]			⑭ (1/21)	【到達目標】 3点 完成したそれぞれのプロモーションの鑑賞 プレゼンテーション準備				
⑦ (10/22)	【到達目標】 3点 GP内の役割の進行状況を確認し修正しながら作業が出来る (作業の進行報告) [制作]			⑮ (1/28)	【到達目標】 3点 プロモーションのプレゼンテーション 振り返りと感想文の提出				
⑧ (11/5)	【到達目標】 3点 計画に沿って作業を進める事が出来る (GPで衣装、ヘアメイク、音、照明の再確認) [制作]			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価 (90～100点)/B評価 (80～89点)/C評価 (70～79点)/D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失)/F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
トータル									

講義シラバス									
科目名	プロフェッショナルメイクⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	松丸亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイクサロン経営。テレビ、広告、ブライダル、撮影なども行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
メイクの基礎知識・技術を基に年齢別・シーン別に適したメイクアップ技術や提案力を身につける									
【学習内容】									
色々な方の肌に触れ、会話をすることでメイクのスキルやコミュニケーション力を身に付ける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式・筆記用具・ノート									
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (9/18)	【到達目標】小テスト2点			⑨ (11/20)	【到達目標】小テスト3点				
	韓国アイドル風メイク				ヘアメイクサロンに 向けて接客・言葉遣い・カウンセリングをロープレ				
② (9/25)	【到達目標】小テスト2点			⑩ (11/27)	【到達目標】小テスト3点				
	パンクメイク『アヴリルラヴィーン』風メイク				1年生をお客様にした成人式ヘアメイクサロン(岸田先生とコラボ)				
③ (10/2)	【到達目標】小テスト4点			⑪ (12/4)	【到達目標】小テスト2点				
	女性から男性へチェンジメイク(特殊メイク鶴岡先生とのコラボ)				ショーガール				
④ (10/9)	【到達目標】小テスト2点			⑫ (12/11)	【到達目標】小テスト4点				
	TPOに合わせてヘアメイク(岸田先生とのコラボ)				老婆メイク(特殊メイク鶴岡先生とのコラボ)				
⑤ (10/16)	【到達目標】小テスト3点			⑬ (12/18)	【到達目標】小テスト3点				
	TPOに合わせたメイク&次回のメンズヘアメイクに向けてのデモン ストレーション				定期試験対策授業				
⑥ (10/23)	【到達目標】小テスト4点			⑭ (1/15)	【到達目標】小テスト3点				
	メンズヘアメイク&撮影会(岸田先生とコラボ)				定期試験対策授業				
⑦ (10/30)	【到達目標】小テスト2点			⑮ (1/22)	【定期試験】60				
	トレンドコスメを使ったトレンドメイクを相モデルで行う				テーマに沿ったメイクを時間内に仕上げる				
⑧ (11/6)	【到達目標】小テスト3点			【成績評価の方法と基準】					
	脳科学・心理学講師『梅澤未来』先生による授業			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物は自己管理不十分とみなし、小テストよりマイナスにする。また今後 社会で必要とされるコミュニケーション力を身に付けるため、相モデルへ の声掛けを徹底する									

講義シラバス									
科目名	プロフェッショナルヘアⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	岸田 知紘	講師 プロフィール	札幌ビューティーメイク美容専門学校卒業 美容師免許取得 ヘアセット歴16年 フリーランス講師・ヘアメイクとして活動中						
【授業を通じての到達目標】 ヘアセットの基礎からの応用。 ベーシックスタイルの応用。									
【学習内容】 基礎を知る。応用へのつながり。技術は反復により一層の理解を深める。【出来る】【わかる】が自信に繋がり向上心へと繋がる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
セットウィッグ・クランプ・ホットカーラー・ロールブラシ・ダッカール・ピン類 ゴム・ゴムを切るハサミ・ハードスプレー・ドライヤー・水スプレー ヘアアイロン・テールコーム									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18)	【到達目標】サロンワークを意識した仕上がりで時間配分が出来るようになる(小テスト2) テーマにあったスタイルを作る 1				⑨ (11/20)	【到達目標】サロンワーク内でスタイリングを完成させる(小テスト3) 成人式ヘアとサロンワーク			
② (9/25)	【到達目標】サロンワークを意識した仕上がりで時間配分が出来るようになる(小テスト3) テーマにあったスタイルを作る 2				⑩ (11/27) (水)	【到達目標】就職をイメージしたサロンワークが出来るようになる(小テスト3) プロフェッショナルメイクとのコラボ 成人式ヘアメイクサロン			
③ (10/2)	【到達目標】テーマに合った仕上がり出来るようになる(小テスト3) カッコいいを作る				⑪ (12/4)	【到達目標】伝統を知り、作り方がわかるようになる(小テスト2) 日本髪			
④ (10/9)	【到達目標】テーマに合った仕上りが出来るようになる【小テスト3】 プロフェッショナルメイクとコラボ				⑫ (12/11)	【到達目標】定期試験に向けたスタイルのイメージを作る(小テスト3) 日本髪をベースとしたアレンジヘア ブッキングと構成を考える			
⑤ (10/16)	【到達目標】サロンワークを意識した仕上がりで時間配分が出来るようになる(小テスト3) メンズセット ヘアメイクサロン練習				⑬ (12/18)	【到達目標】実践的に作りイメージとの違いをより形に出来るようになる(小テスト3) 日本髪をベースとしたアレンジヘア 定期試験練習			
⑥ (10/23)	【到達目標】サロンワークを意識した仕上がりで時間配分が出来るようになる(小テスト3) プロフェッショナルメイクとのコラボ メンズヘアメイク 証明写真～カジュアルスタイルまで				⑭ (1/15)	【到達目標】時間配分と仕上がりを意識できるようになる(小テスト3) 定期試験練習			
⑦ (10/30)	【到達目標】イメージを形に出来るようになる。(小テスト3) テーマにあったスタイルを作る 3				⑮ (1/22)	【定期試験】60 定期試験			
⑧ (11/6)	【到達目標】が出来るオーダーに合わせたスタイルが出来るようになる(小テスト3) テーマにあったスタイルを作る 4				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】 必須道具・名札などの忘れ物は小テストよりマイナスとする。									

講義シラバス									
科目名	ヘアメイク総合技術Ⅱ	必修 選択の別	選択	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	林・水戸 メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
メイクアップアーティストに必要な知識と実践力を身につける。舞台やシチュエーションに合わせたヘアメイクができるようになる。									
【学習内容】									
【使用教科書・教材・参考図書】				【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
				資料検索など					
メイク道具一式 ヘア道具一式									
	授業計画			日時	授業計画				
	【到達目標】2				【到達目標】2				
① 9/19	オリエンテーション ヘアメイクの仕事について			⑨ 11/7	舞台メイク バレリーナ				
	【到達目標】2				【到達目標】2				
② 9/26	成人式、卒業式のヘアメイク(金箔、水引のつけ方)			⑩11/14	舞台メイク 宝塚				
	【到達目標】2				【到達目標】2				
③ 10/3	ブライダルヘアメイク ヘッドドレスのつけ方			⑪ 11/28	イメージメイク キュート、クール、グラマラス、などイメージを選んでヘアメイク				
	【到達目標】2				【到達目標】3				
④ 10/10	年代別 マリリンモンロー			⑫ 12/5	イメージメイク フラワー、スイーツ、フルーツから選んでヘアメイク				
	【到達目標】2				【到達目標】3				
⑤ 10/17	年代別 オードリー ヘプバーン			⑬ 12/19	衣装に合わせてヘアメイクチェンジ				
	【到達目標】6				【到達目標】3				
⑥ 10/24	中間チェック			⑭ 1/16	定期試験練習				
	到達目標 2				【定期試験】60				
⑦ 10/24	動物ペイント			⑮ 1/23	定期試験				
	【到達目標】2			【成績評価の方法と基準】					
⑧ 10/31	舞台メイク 日舞			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス										
科目名	ヘアメイク総合技術Ⅱ	必修 選択の別	選択	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	60	時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生			
講師名	川崎みゆき	講師 プロフィール	ウェディングプランナー歴15年以上のキャリアを持ち、海外での経験から欧米ウェディングの知識も豊富。約10年以上ほど前からブライダルの講師も務める。							
【授業を通じての到達目標】										
ブライダルの概要を理解し、幸せな花嫁を作り上げる要素を美容の観点だけでなく多方面から学ぶことで、幅広い角度のウェディングスタイルを学習する。またアソシエイトブライダルコーディネーター認定試験合格、およびプロとして必要なブライダルに関する知識を取得・理解する。										
【学習内容】										
ブライダルに関する基礎知識に加え、ブライダルの現場見学や、現場に携わっている方々をゲストに招き、「今」のブライダルを知る。また、ブライダルアイテムの制作体験などを通じてブライダルの世界観を学ぶ。										
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ブライダルコーディネーター テキスト スタANDARD										
日時	授業計画				日時	授業計画				
	【到達目標】					【到達目標】				
① (9/19)	お見合い、婚約、結納について学ぶ。昔とはスタイルや名前を変えつつも出会いの場としてあり続けるお見合いや婚約の意味を知る。				⑨ (11/ 21)	③映画鑑賞：欧米スタイルの結婚式から演出など理解を深める。レポート提出				
② (9/26)	＜体験授業＞小物制作：結納や引出物 祝儀袋などに使われる水引を実際に触れて作成する。お祝いを贈るマナーなどを学ぶ。				⑩ (11/28)	＜体験授業＞結婚式の演出に多く使用されるキャンドルについて、業界の方をお迎えしてキャンドルを使った演出や効果などお話を聞く。				
③ (10 / 3)	①コーディネーター業務について学ぶ。接客やペーパーワーク、プランニング、コーディネート、プレゼンテーションなど基本的な業務について学ぶ。グループワークなどを通して接客コミュニケーションに必要なものを学ぶ。				⑪ (12/ 5)	手配業務について学ぶ。ペーパーアイテム、衣装着付け、演出などの手配時の注意点などを学ぶ。				
④ (10/10)	②コーディネーター業務について学ぶ。接客やペーパーワーク、プランニング、コーディネート、プレゼンテーションなど基本的な業務について学ぶ。グループワークなどを通して接客コミュニケーションに必要なものを学ぶ。				⑫ (12/12)	年間通しての復習				
⑤ (10/ 17)	ブライダルフラワーについて学ぶ。ブーケやヘアアクセサリ、会場装飾などウェディングに欠かせないお花についての理解を深める。				⑬ (12/19)	定期試験、検定に向けての授業まとめ、検定対策				
⑥ (10 / 24)	＜体験授業＞フラワーアイテムの制作。ブートニアの制作とお花を使った結婚式で使用される小物制作。				⑭ (1/16)	定期試験、検定に向けての授業まとめ、検定対策				
⑦ (10/ 31)	挙式・披露宴の演出、装飾について学ぶ。実際の結婚式の動画などを通してトレンドから流行りのものを知る。				⑮ (1/ 23)	定期試験 * 検定は1/27(月)予定 *				
⑧ (11/ 8)	写真・司会・料理など結婚しhに関する様々な演出に関して学ぶ。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
* 会場やゲスト講師のスケジュール、都合によって日程や内容が変更することがあります										

講義シラバス									
科目名	ヘアメイク総合技術Ⅱ	必修 選択の別	選択	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	國枝知夏	講師 プロフィール	東京の服飾専門学校を卒業後アシスタントを経て独立し老若男女問わず主にタレント、俳優の方々を担当しCM、映画、ドラマ、バラエティ、雑誌、MV、ショーなど様々な現場に20年程携わる						
【授業を通じての到達目標】									
2年間で得たものを集結させたwebマガジンの制作。企画力、提案力を身につけ求められる存在になる									
【学習内容】									
オリジナルのwebマガジンの企画、制作をしターゲットに向けたトータルスタイリングとプレゼンテーションを行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
裁縫セット アイロン ヘアメイカー式 携帯やタブレット 筆記用具									
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (9/19)	【到達目標】2点			⑨ (11/21)	【到達目標】3点				
	オリエンテーション シラバスの確認				webマガジンの作成 [コンセプト、ターゲットを考え企画する事が出来る] (GP)				
② (9/26)	【到達目標】3点			⑩ (11/28)	【到達目標】3点				
	実践にいかせる縫い方が出来る（ボタン付け・裾上げ等）				webマガジンの作成 [ターゲットに向けた衣装、ヘアメイクを提案出来る] (GP)				
③ (10/3)	【到達目標】3点			⑪ (12/5)	【到達目標】2点				
	撮影準備が出来るようになる (アイロンのかけ方・服の着せ方・靴の履かせ方)				webマガジンの作成 [トータルスタイリングを完成させ撮影する事が出来る] (GP)				
④ (10/10)	【到達目標】2点			⑫ (12/12)	【到達目標】2点				
	雑誌別スタイリングが出来る (GPで異なる雑誌で2パターンのスタイリングを考える)				webマガジンの作成 [トータルスタイリングを完成させ撮影する事が出来る] (GP)				
⑤ (10/17)	【到達目標】2点			⑬ (12/19)	【到達目標】3点				
	雑誌別スタイリングが出来る (服を持ち寄りヘア、メイクをトータル)				webマガジンの作成 [撮影した写真を元に構成させる]（デザイナー）				
⑥ (10/24)	【到達目標】2点			⑭ (1/16)	【到達目標】5点				
	雑誌別スタイリングが出来る (服を持ち寄りヘア、メイクトータル)				webマガジンの作成（写真、文章、背景など全て差し込んで完成させる事が出来る）（デザイナー）				
⑦ (10/31)	【到達目標】4点			⑮ (1/23)	【定期試験】60				
	雑誌別スタイリングが出来る（撮影）				作成したwebマガジンのプレゼンテーションをする事が出来る 感想文の提出				
⑧ (11/7)	【到達目標】4点			【成績評価の方法と基準】					
	雑誌別スタイリングが出来る（撮影）			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	アシスタントプログラムⅣ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	藤 なつき	講師 プロフィール	札幌ベルエポック専門学校を卒業し、美容、ブライダル会社にてコーディネーターヘアメイクとして勤務。現在、フリーランスのヘアメイク。						
【授業を通じての到達目標】									
・現場実習、就職に備えて、お客様・クライアントの要望に応えられる技術力、臨機応変な対応ができるようになる。									
【学習内容】									
・アシスタントとして必要な知識や技術を身につけ、ヘアセットのバリエーションやスピードをあげる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式、筆記用具					1、事前準備 2、相モデルに合うヘアメイクを考えてくる 3、ヘアメイク作品の整理				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/19)	【到達目標】メイク道具 相モデルの普段のメイクを再現できるようになる。 (モデルは口頭でだけでポイント伝える)				⑨ (11/21)	【到達目標】ウィック、ヘア道具一式 ・ヘアのバリエーションを増やし、手早く作れるようになる。			
② (9/26)	【到達目標】ウィック、ヘア道具一式(ホットカーラー・ブラシ) ・ホットカーラーだけでヘアセットできるようになる。 ・ロングウィックをポップっぽくまとめる				⑩ (11/28)	【到達目標】相モデル、ヘア道具一式 ・相モデルの前髪を普段と変えてヘアセットができるようになる。			
③ (10/3)	【到達目標】相モデル、ヘア道具一式(ホットカーラー・ブラシ) 50、60代のヘアスタイルを作れるようになる。				⑪ (12/5)	【到達目標】相モデル、ヘア道具一式 作品を増やす(相モデル1人目)			
④ (10/10)	【到達目標】相モデル、メイク道具、アイロン、ドライヤーなど ・カラーを目元に使ったメイクができるようになる。(1人30分) ・顔周り、前髪まで整え仕上げる。				⑫ (12/12)	【到達目標】ウィック、ヘア道具一式 作品を増やす(相モデル2人目)			
⑤ (10/17)	【到達目標】相モデル、ヘアセット道具 ・エキストラ役のヘアの早替えができるようになる。 (バリエーション、スピード強化)				⑬ (12/19)	【到達目標】ウィック、ヘア道具一式 ・課題に出されたヘアスタイルを完璧に真似して作れるようになる。 (誰が1番似せて作れるか大会開催！)			
⑥ (10/24)	【到達目標】相モデル、ヘアセット道具 ・エキストラ役のヘアの早替えができるようになる。 (バリエーション、スピード強化)				⑭ (1/16)	【到達目標】 ・定期試験に向けて、2025春のトレンドを取り入れたトレンドメイクを研究しセルフトレーニング。			
⑦ (10/31)	【到達目標】相モデル、メイク道具、アイロン、ドライヤーなど ページュにこだわったメイクができるようになる。 ・顔周り、後れ毛の仕上げも含む				⑮ (1/23)	【定期試験】50 相モデル、メイク道具、アイロン、ドライヤーなど ・2025年春のトレンドを取り入れたトレンドメイクができるようになる。(1人30分) ・顔周り、後れ毛の仕上げも含む			
⑧ (11/7)	【到達目標】相モデル、メイク道具、アイロン、ドライヤーなど ・前髪、後れ毛のニュアンスにこだわったヘアができるようになる。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 小テストは①・②は2点配点、③～⑭は3点配点				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
* 学校の企画や、イベントにより授業内容変わりますのでしっかりと内容確認してください。									

講義シラバス									
科目名	セルフマネジメントⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	川崎優香	講師 プロフィール	北海道唯一総合エンターテイメントスクールDevelop代表。現役でモデルとして活動しつつ、ウォーキング講師となり10年目、スクール経営7年。年齢層幅広くウォーキング指導のみならずオーディション対策、撮影指導、ファッションショー構成&企画運営やアドバイスも行っている。過去にはTVやラジオ出演、ミスコン、様々なヘアショー出演経験もあり。ショー企画運営アドバイスも行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
現場で臨機応変に対応が出来るよう、接し方はもちろん自分をマネジメント出来るようにする。									
【学習内容】									
実践的な現場での動きの理解、									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ノート、筆記用具、ヘアメイク道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/23)	【到達目標】小テスト2点				⑨ (11/25)	【到達目標】小テスト3点			
	実際に活動しているモデルによる現場でヘアメイクされて感じることにについてゲスト登壇。(予定)					④過去に行った作品撮り作品をまとめる。プレゼン発表。			
② (9/30)	【到達目標】小テスト2点				⑩ (12/2)	【到達目標】小テスト3点			
	前回の授業で感じたことをまとめモデルに合ったヘアメイク、テーマに沿ったヘアメイクを考案。					テーマに沿ったヘアメイクをグループ毎に考案。			
③ (10/7)	【到達目標】小テスト3点				⑪ (12/9)	【到達目標】小テスト3点			
	モデルに合ったヘアメイク、テーマに沿ったヘアメイクを考案。					前回の授業で考案したものを実際にヘアメイクし撮影。			
④ (10/14)	【到達目標】小テスト3点				⑫ (12/16)	【到達目標】小テスト3点			
	様々な年齢層のモデルのヘアメイク時間が取れば撮影まで行いたい。					撮影データを確認し振り返り。			
⑤ (10/21)	【到達目標】小テスト3点				⑬ (12/23)	【到達目標】小テスト3点			
	前回の振り返り。					同じグループで各自テーマを決める。			
⑥ (10/28)	【到達目標】小テスト3点				⑭ (1/20)	【到達目標】小テスト3点			
	①過去に行った作品撮り作品をまとめる。					前回の授業で考案したものを実際にヘアメイクし撮影。			
⑦ (11/11)	【到達目標】小テスト3点				⑮ (1/27)	【定期試験】60			
	②過去に行った作品撮り作品をまとめる。					後期定期試験 撮影データをもとに定期試験。			
⑧ (11/18)	【到達目標】小テスト3点				【成績評価の方法と基準】				
	③過去に行った作品撮り作品をまとめる。プレゼン発表。				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
実際のモデルさんによる意見やコミュニケーションも含め人との接し方自分をどのように魅せるか、相手をどうマネジメントするかを習得する。									

講義シラバス									
科目名	セルフプロデュースⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	川崎優香	講師 プロフィール	北海道唯一総合エンターテイメントスクールDevelop代表。現役でモデルとして活動しつつ、ウォーキング講師となり10年目、スクール経営7年。年齢層幅広くウォーキング指導のみならずオーディション対策、撮影指導、ファッションショー構成＆企画運営やアドバイスも行っている。過去にはTVやラジオ出演、ミスコン、様々なヘアショー出演経験もあり。ショー企画運営アドバイスも行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
現場でヘアメイクされる方への気持ちの寄り添い方、立ち振る舞い方を習得。 どんな人になりたいかイメージに向けて自分自身をプロデュース出来るようにする。									
【学習内容】									
自分自身の見られ方、見せ方を基本的な姿勢や話し方も含めて学ぶ。 実際に現場で必要な動きやサポート力を身に付けましょう。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ノート、筆記用具、ヘアメイク道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/17)	【到達目標】小テスト2点				⑨ (11/19)	【到達目標】小テスト3点			
	前期定期試験のショー動画鑑賞。 良かった点、悪かった点についてグループワーク。					自分がすべてトータルプロデュースするならば どのような作品を作り上げたいか相モデルをイメージに考える。			
② (9/24)	【到達目標】小テスト2点				⑩ (11/26)	【到達目標】小テスト3点			
	①韓国ヘアメイクを意識しファッションショーを作り上げよう。					①セルフプロデュースしたイメージを実際にヘアメイクを行い撮影。			
③ (10/1)	【到達目標】小テスト3点				⑪ (12/3)	【到達目標】小テスト3点			
	②韓国ヘアメイクを意識しファッションショーを作り上げよう。					②セルフプロデュースしたイメージを実際にヘアメイクを行い撮影。			
④ (10/8)	【到達目標】小テスト3点				⑫ (12/10)	【到達目標】小テスト3点			
	③韓国ヘアメイクを意識しファッションショーを作り上げよう。					企画書作成について学ぶ。			
⑤ (10/15)	【到達目標】小テスト3点				⑬ (12/17)	【到達目標】小テスト3点			
	④韓国ヘアメイクを意識しファッションショーを作り上げよう。					自分自身が分かる内容でまとめるのではなく 相手に伝わる内容のものを作成できるようになる。			
⑥ (10/22)	【到達目標】小テスト3点				⑭ (1/21)	【到達目標】小テスト3点			
	①本番同様にイメージして再現してみよう！					次回の定期試験に向けてテーマを各自決めて 企画書作成に向けて準備。			
⑦ (10/29)	【到達目標】小テスト3点				⑮ (1/28)	【定期試験】60			
	②本番同様にイメージして再現してみよう！					後期定期試験 企画書を作成後発表。			
⑧ (11/5)	【到達目標】小テスト3点				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
	実際のショーを見て感じたことや改善点について。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
意欲的に取り組み、周りとのコミュニケーションをとる。 臨機応変な対応ができるようになり現場で活躍できるようにする。									